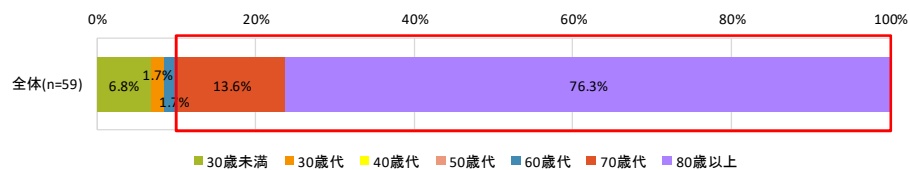


第6章 公共交通や公共交通を取り巻く環境に関する現状・問題点

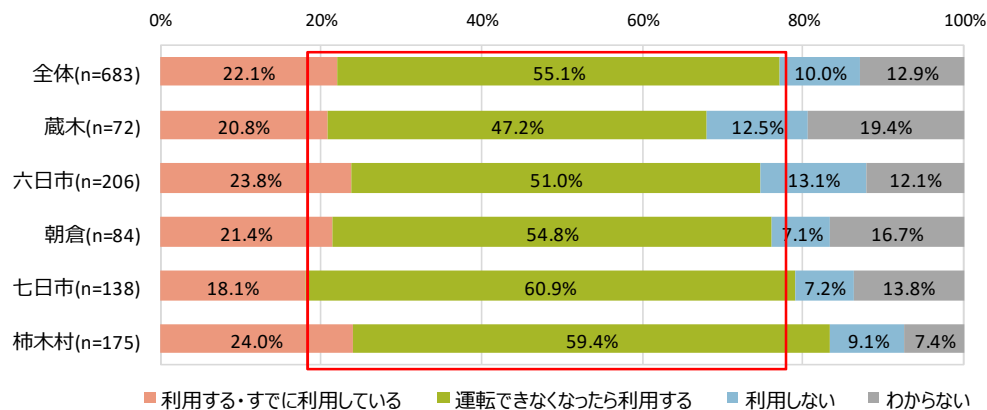
① 更なる高齢化の進展に伴う公共交通ニーズの高まり

- ・ 総人口は減少し、今後も高齢化率は上昇すると予測されています。
- ・ 公共交通利用者の89.9%が70歳以上の高齢者であり、公共交通利用のターゲットは主に高齢者となっています。現在利用していない人も、サービス改善後に運転ができなくなったら利用すると回答した人が50%以上となっています。



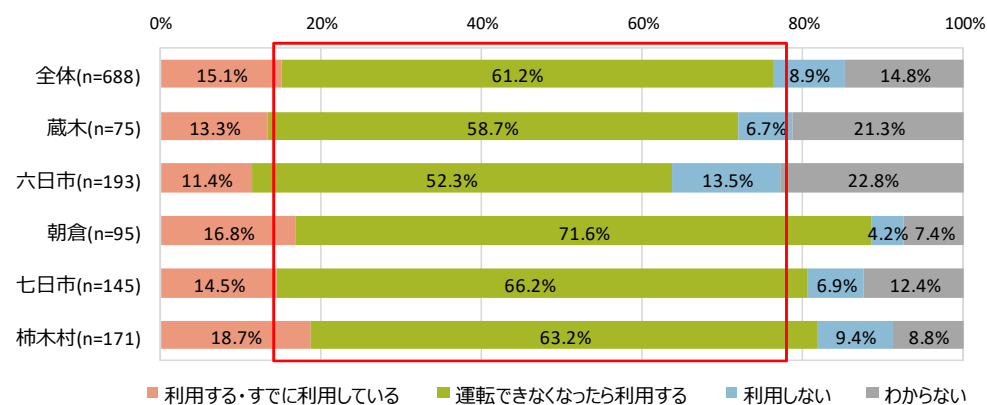
資料：利用者アンケート調査

図表-35 町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシー利用者の年齢



資料：住民アンケート調査

図表-36 広益線・広域線のサービス改善後の利用意向

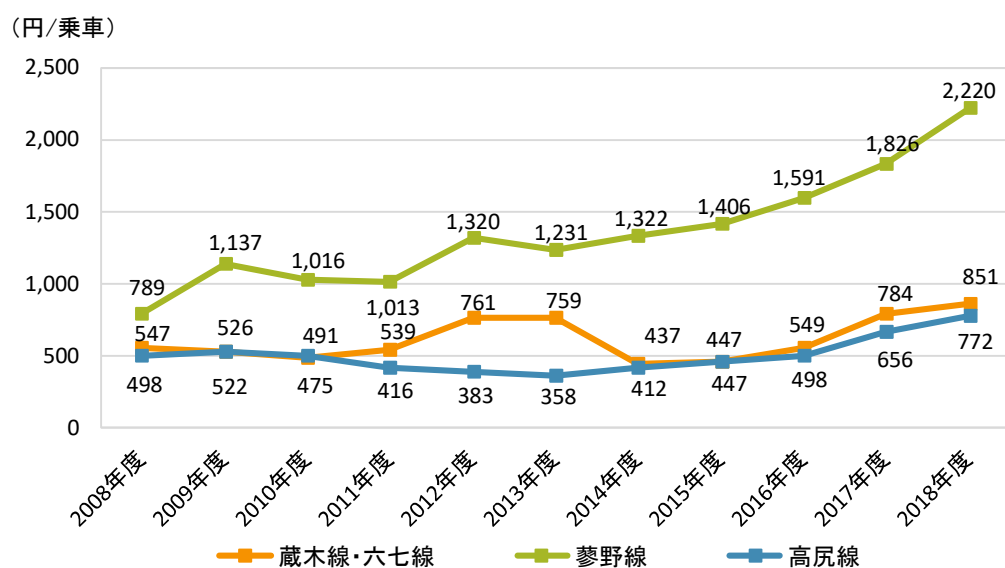


資料：住民アンケート調査

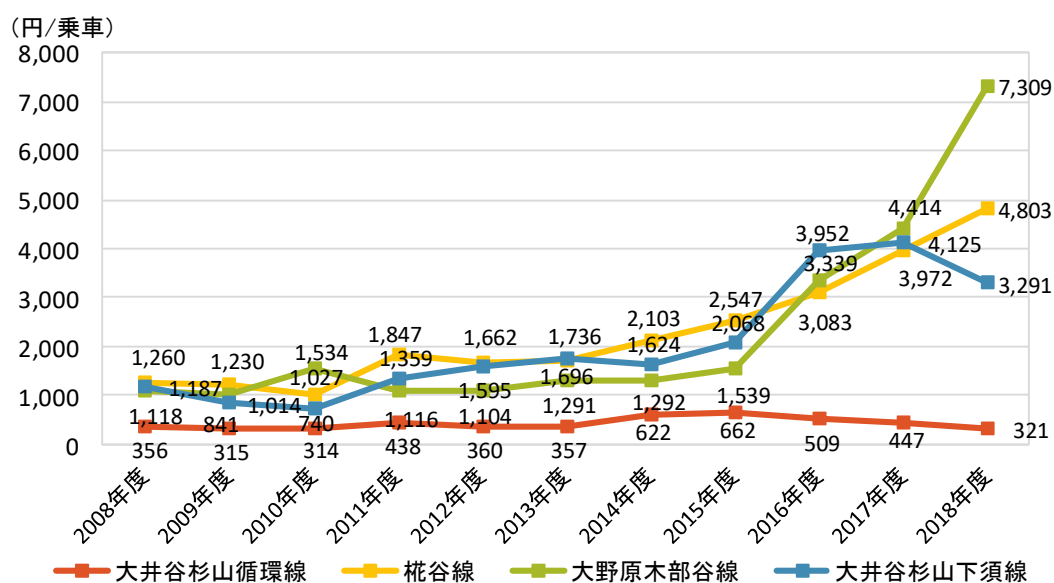
図表-37 町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシーのサービス改善後の利用意向

② 利用者の減少に伴う町の財政負担の増加

- ・ 大井谷杉山循環線以外は、近年の利用者の減少に伴い、町が負担する欠損補助額が増加しています。
- ・ 特に、大野原木部谷線、栴谷線の1乗車当たりの町の財政負担（1人を輸送するのにかかる町の財政支出）が大きく、2018年度はそれぞれ7,309円、4,803円となっています。



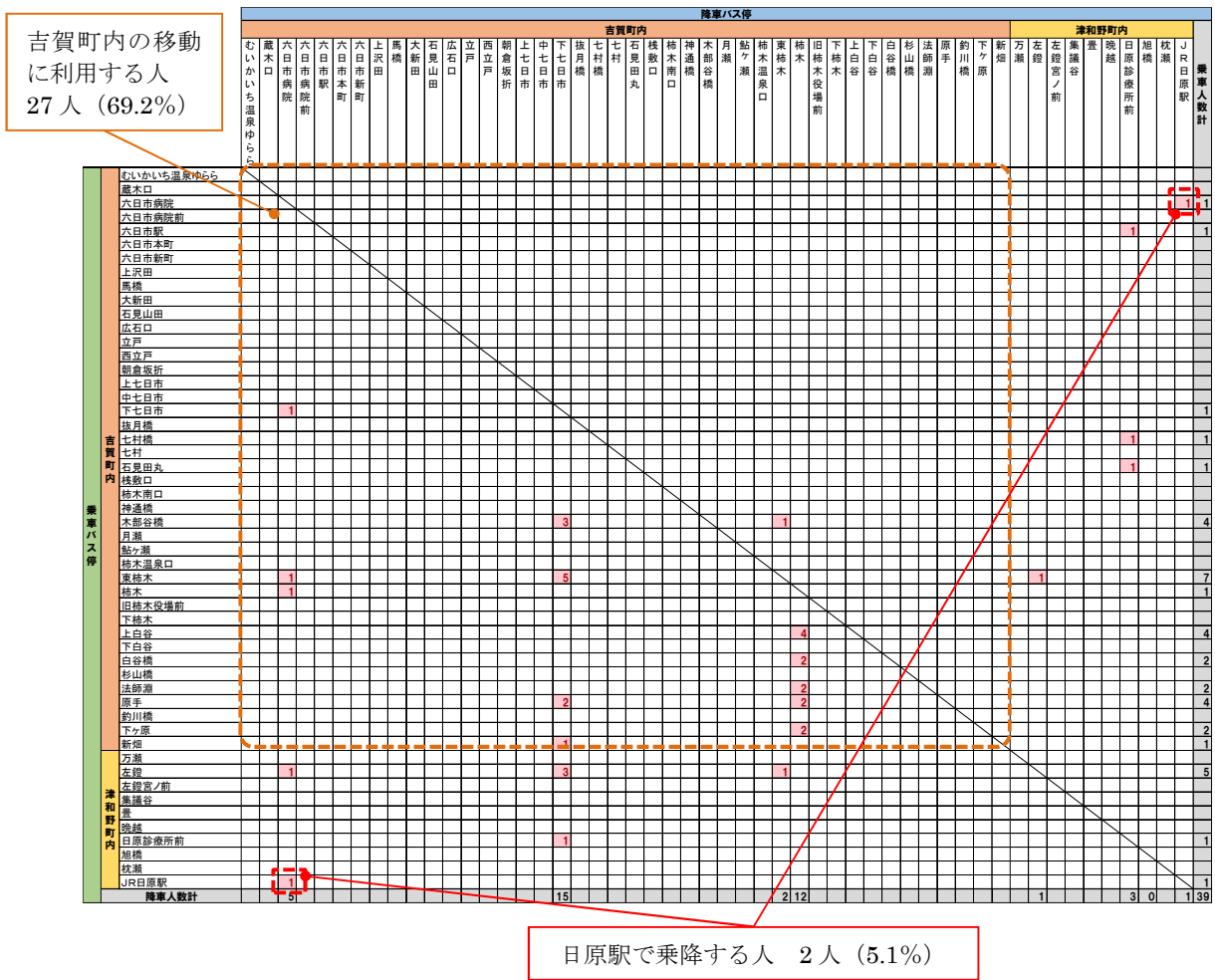
図表-38 1乗車当たりの町の財政負担(六日市地域)



図表-39 1乗車当たりの町の財政負担(柿木村地域)

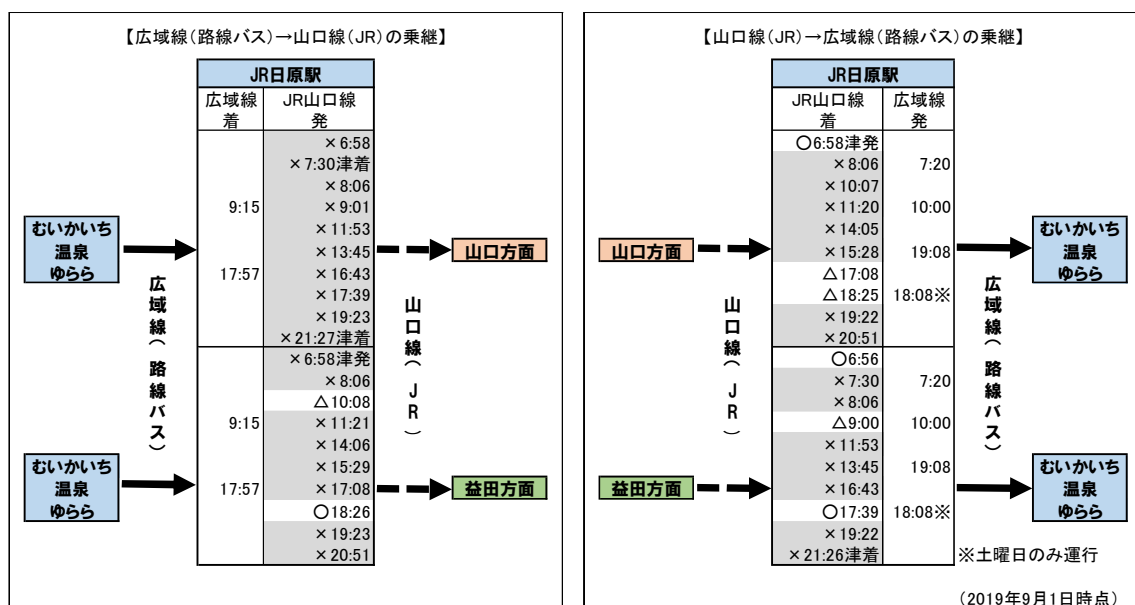
③ 時代の変化に伴い広域線の役割が不明確に

- ・ 広域線は、日原駅を交通結節点として、六日市病院バス・旧日原線のダイヤを存続し、柿木村・旧日原共存病院を経由する広域幹線の役割を担っていましたが、日原駅で乗り継ぎを行う人がほとんどいません。
- ・ 広域線は、吉賀町内の移動で利用する人の割合が 69.2%となっており、主に吉賀町内の移動手段として利用されています。
- ・ 一方で、益田市や津和野町から通勤・通学・通院する人もおり、六日市病院は六日市交通(有)と契約し、益田市から日原駅まで通勤バス（貸切バス）を運行していました。



資料：広域線乗降調査（平日１日、土曜日１日の利用者の計）

図表-40 広域線の OD 表



○ 30分以内に乗継可能
△ 30分～1時間の待ち時間があり、実質乗継不可
× 乗継不可

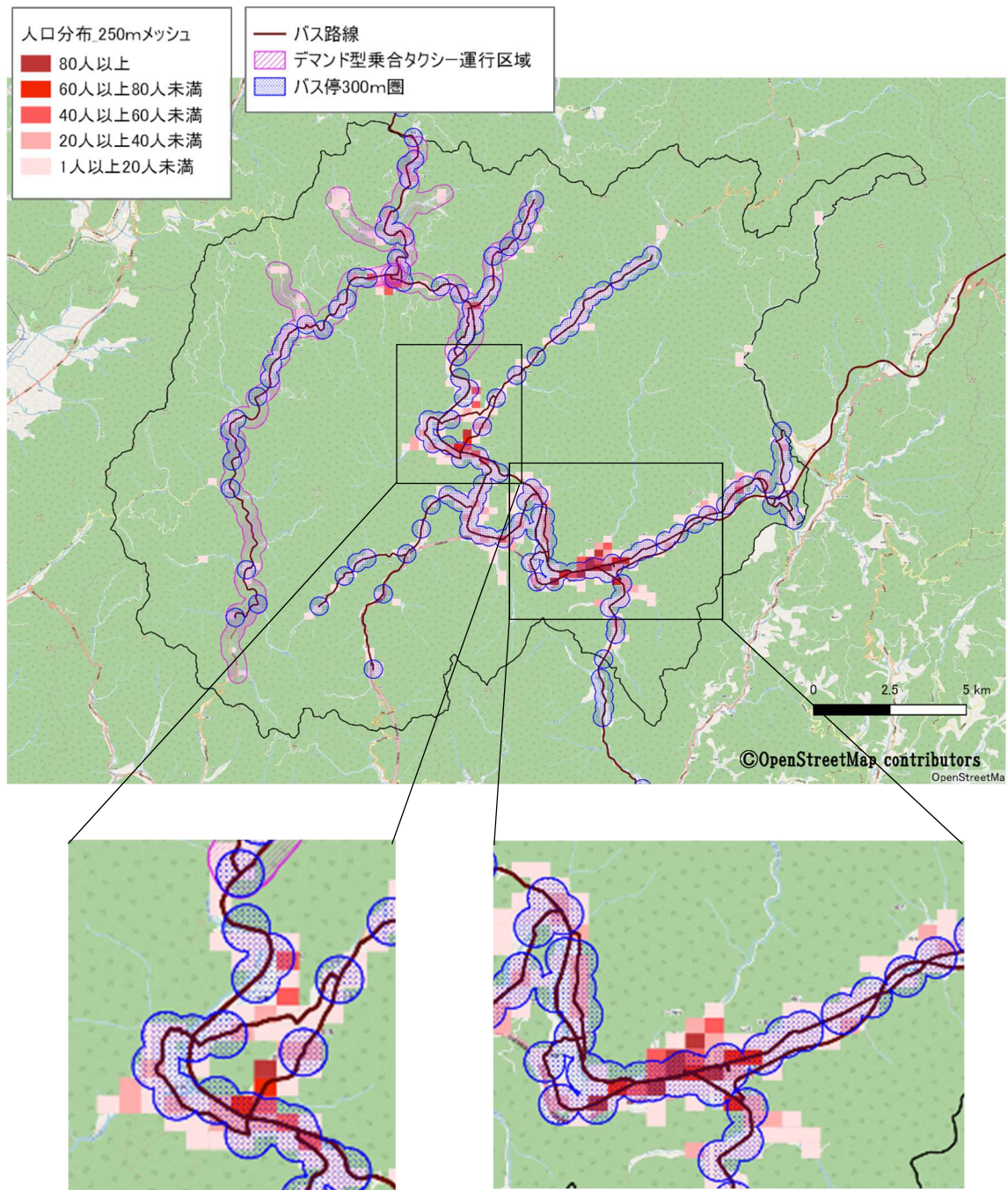
図表-41 日原駅における広域線とJR山口線の接続状況

- ✓ 平成 31 年度から、益田市に自宅がある生徒は、自宅又は吉賀町内の下宿から通学する必要がある。日原駅で広域線（7:20 日原駅発）と JR が接続すれば通学利便性が向上する可能性がある。（吉賀高校）
- ✓ 益田駅北～日原駅間を六日市病院が貸し切りで運行しており、主に早番の看護師が利用している。（六日市病院）
- ✓ 7:20 日原駅発の便は柿木小学校と六日市病院への通勤者の到着時間から設定されている。17:00 ゆらら発の便は六日市病院の通勤者の帰り便として、19:08 日原駅発の便は折返しとして設定。土曜日は通勤者がいないため、18:08 日原駅発となっている。（交通事業者）

図表-42 ヒアリング調査における意見

④ 公共交通が利用できない地域が存在

- ・ 町内を移動するための交通手段（タクシー以外）は、六日市地域は路線バス、柿木村地域は路線バスとデマンド型乗合タクシーという異なった運行形態です。
- ・ 六日市地域は路線バスの乗降は停留所でしかできないため、自宅前で乗降したいという要望が多く聞かれています。



資料：平成 27 年国勢調査

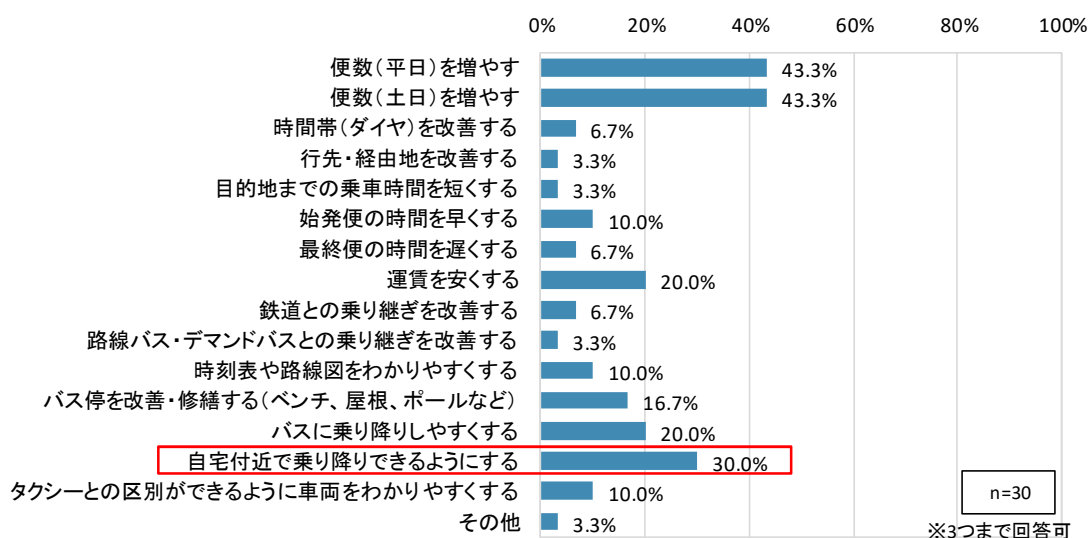
図表-43 公共交通圏と人口分布(再掲)

改善内容	全体(n=520)	蔵木(n=63)	六日市(n=140)	朝倉(n=64)	七日市(n=111)	柿木(n=137)
運行本数（平日）を増やす	40.8%	49.2%	32.9%	39.1%	36.0%	49.6%
運行本数（土日）を増やす	22.3%	23.8%	18.6%	18.8%	27.0%	24.1%
運行時間（ダイヤ）を改善する	16.3%	22.2%	14.3%	21.9%	15.3%	13.9%
経路（行先・経由地）を改善する	10.8%	15.9%	11.4%	18.8%	9.9%	5.1%
目的地までの乗車時間を短くする	3.3%	0.0%	5.7%	3.1%	3.6%	2.2%
始発の時間を早くする	2.7%	3.2%	1.4%	3.1%	2.7%	3.6%
終発の時間を遅くする	4.8%	3.2%	5.0%	1.6%	3.6%	8.0%
運賃を安くする	24.6%	17.5%	25.0%	23.4%	29.7%	24.1%
高速バス・路線バス（町外）との乗り継ぎを改善する	16.3%	17.5%	12.9%	14.1%	15.3%	21.2%
時刻表や路線図をわかりやすくする	17.1%	17.5%	17.1%	15.6%	15.3%	17.5%
屋根や椅子などバス停の待合環境を改善する	6.9%	7.9%	7.9%	1.6%	2.7%	11.7%
車両の段差を改善し乗り降りしやすくする	8.1%	9.5%	7.9%	1.6%	9.0%	10.2%
自宅付近で乗り降りできるようにする	37.3%	41.3%	40.0%	37.5%	40.5%	30.7%
タクシーとの区別ができるように車両をわかりやすくする	3.8%	9.5%	2.9%	4.7%	3.6%	2.2%
その他	10.4%	9.5%	15.0%	12.5%	6.3%	8.8%

※3 つまで回答可

資料：住民アンケート調査

図表-44 町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシーのサービス改善要望



資料：利用者アンケート調査

図表-45 町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシーのサービス改善要望（六日市地域）

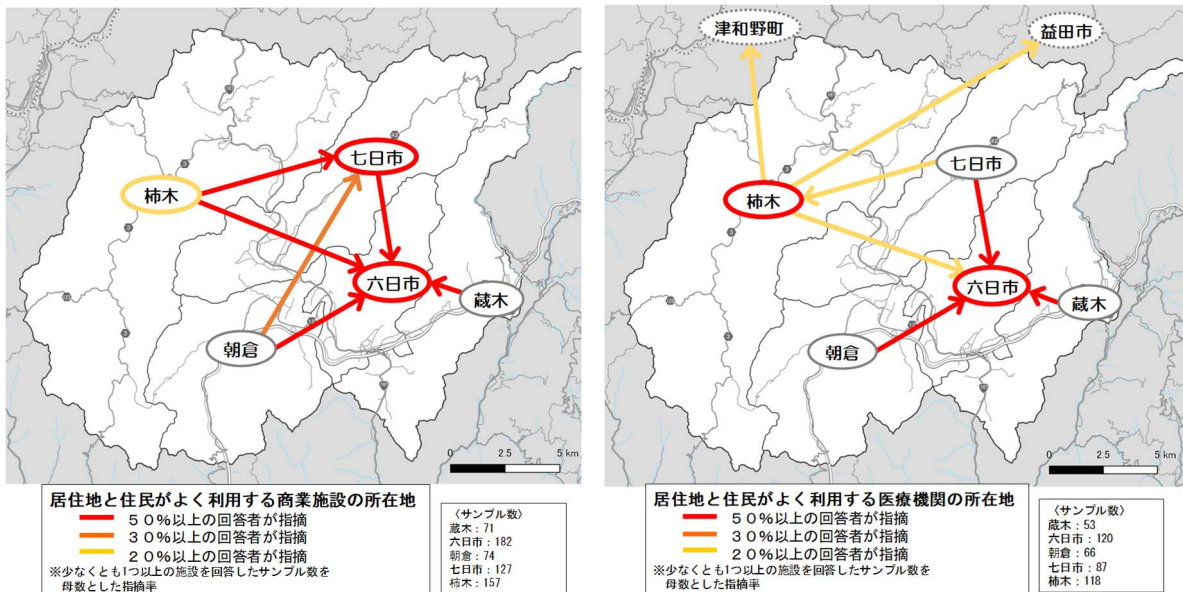
- ✓ 高齢化に伴い、自宅前までの送迎が重要。（朝倉地区）
- ✓ 自宅から停留所まで歩かなければならない。買い物の帰りは荷物が増えるので、大変になる。家の前までバスが入ればいい。（七日市地区）

資料：民生委員アンケート調査

図表-46 民生委員の意見

⑤ 住民の生活圏と移動ニーズに合わないダイヤ

- ・ 柿木村地域の商業施設や医療機関は小規模な施設が多いため、六日市地域に買物や通院する人がいます。
- ・ 六日市地域から柿木村地域の医療機関に通院する人もいます。
- ・ 広益線・広域線は六日市地域と柿木村地域を結ぶ幹線としての役割を担っていますが、住民の移動ニーズに合致していないダイヤとなっていたり、一部が町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシーと乗継が不便なダイヤとなっています。



地区	1位	2位	3位
蔵木	・サンマート	・活鮮ストア ・ウォンツ ・ジュテンドー	
六日市	・サンマート	・活鮮ストア ・ジュテンドー	・ウォンツ
朝倉	・サンマート	・キヌヤ ・ジュテンドー	・ウォンツ
七日市	・キヌヤ	・サンマート ・活鮮ストア ・ウォンツ	
柿木	・サンマート ・木村商店		

地区	1位	2位	3位
蔵木	・六日市病院 ・松浦内科胃腸科	・おがさわら歯科 ・小笠原医院	
六日市	・六日市病院	・松浦内科胃腸科	・おがさわら歯科
朝倉	・六日市病院	・松浦内科胃腸科	・小笠原医院 ・おがさわら歯科
七日市	・六日市病院	・栗栖医院	・小笠原医院 ・益田赤十字病院 ・松浦内科胃腸科
柿木	・六日市病院	・小笠原医院 ・和崎医院	・栗栖医院

凡例：各施設の所在地

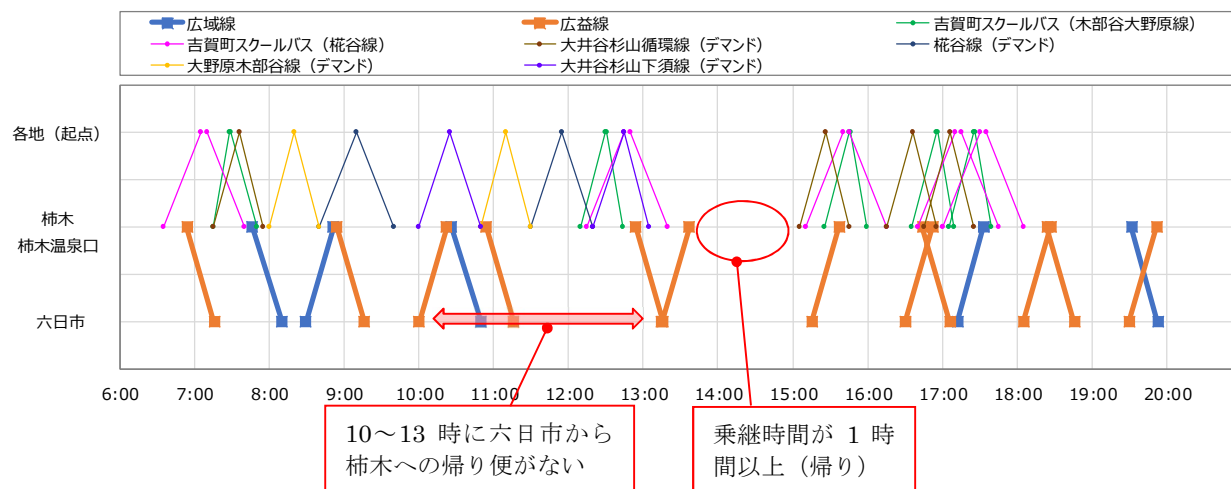
六日市地区 七日市地区 柿木地区 津和野町 益田市

※「バス等を利用する必要がある人」は自分ひとりで移動ができるが、免許証を持たないなど車での移動が困難なため、路線バスやタクシーなどの公共交通機関を利用する必要がある人をいう。

※回答の多かった上位3施設を整理

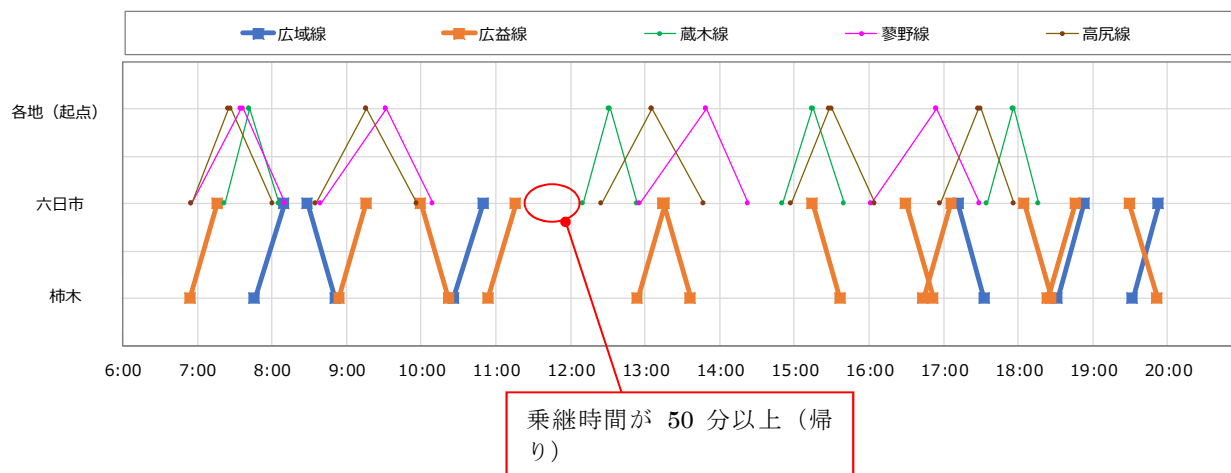
資料：住民アンケート調査

図表-47 居住地と町民がよく利用する商業施設・医療機関の所在地

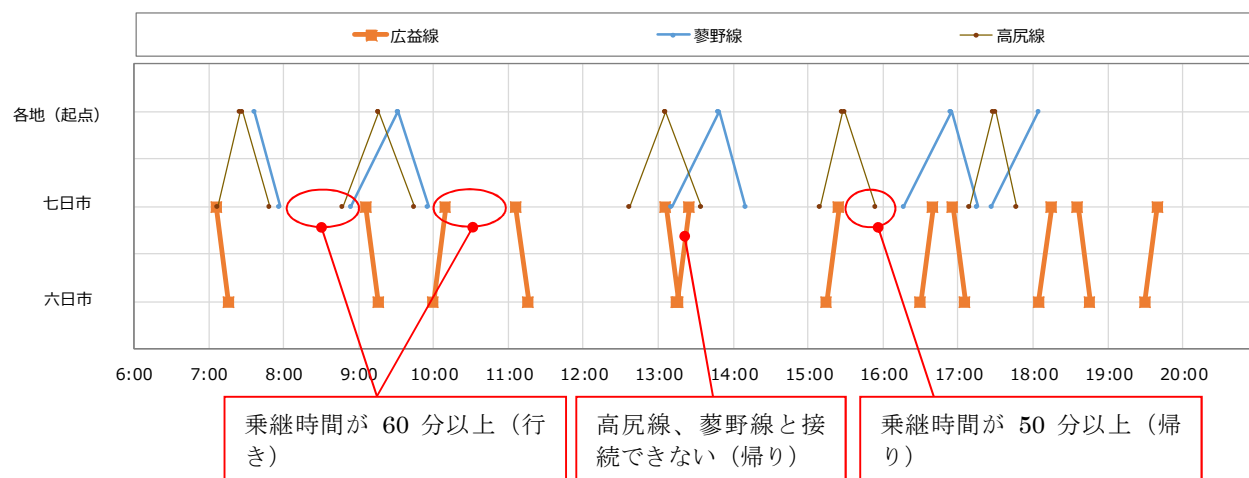


※吉賀町スクールバス (柿谷線) は「柿木温泉口」で広益線と乗り継ぎができない。
 ※吉賀町スクールバス (柿谷線、木部谷大野原線) は「柿木」で広益線と乗り継ぎができない。
 ※吉賀町スクールバス (柿谷線、木部谷大野原線) の 2・3 便は、時期により運行時間が異なるが、全ての便を掲載。

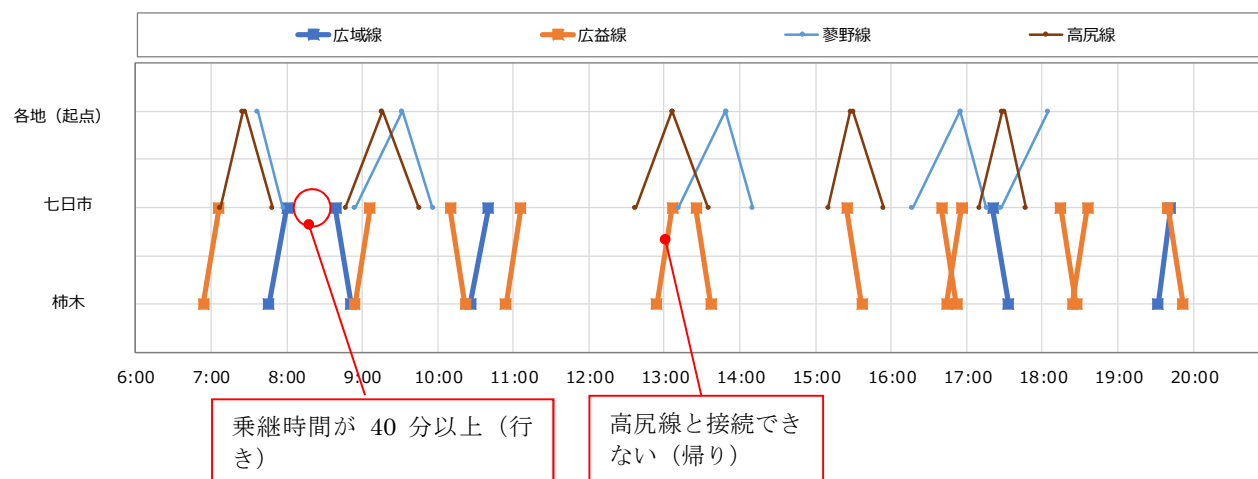
図表-48 柿木地区における路線バス間の接続状況



図表-49 六日市地区における路線バス間の接続状況



図表-50 七日市地区における路線バス間の接続状況(六日市・広島方面)



図表-51 七日市地区における路線バス間の接続状況(柿木・津和野方面)

⑥ 利用されていないスクール便とスクールバスの運行形態の地域差

- ・ 六日市地域の定時定路線は朝夕の便がスクール便と位置付けられていますが、遠距離通学費補助事業の対象地域の児童が毎日バスを利用していない等の理由で、利用が少ない便が存在します。
- ・ 2019 年 4 月の蔵木中学校と六日市中学校の統合に伴い、生徒のニーズに細かく対応するスクール専用バスを運行しています。
- ・ 町内のスクールバスは、地域により運行形態やサービスレベルが異なり、地域差が生じている状況です。

【登校】

地域	路線名	方面	便	1日平均利用者数 (小中学生)
六日市 地域	蔵木線	深谷大橋→六日市駅	1便 (7:42発)	0.0
		六日市駅→深谷大橋	1便 (7:22発)	0.0
	蓼野線	ゆらら→国重橋	1便 (6:52発)	0.0
		国重橋→ゆらら	1便 (7:37発)	0.0
	高尻線	ゆらら→新田	1便 (6:52発)	0.5
		新田→ゆらら	1便 (7:27発)	5.3
柿木村 地域	吉賀町スクールバス (梶谷線)	キャンプ場入り口→柿木	1便 (7:10発)	10.1
	吉賀町スクールバス (木部谷大野原線)	口屋橋→柿木	1便 (7:29発)	8.7

【下校】

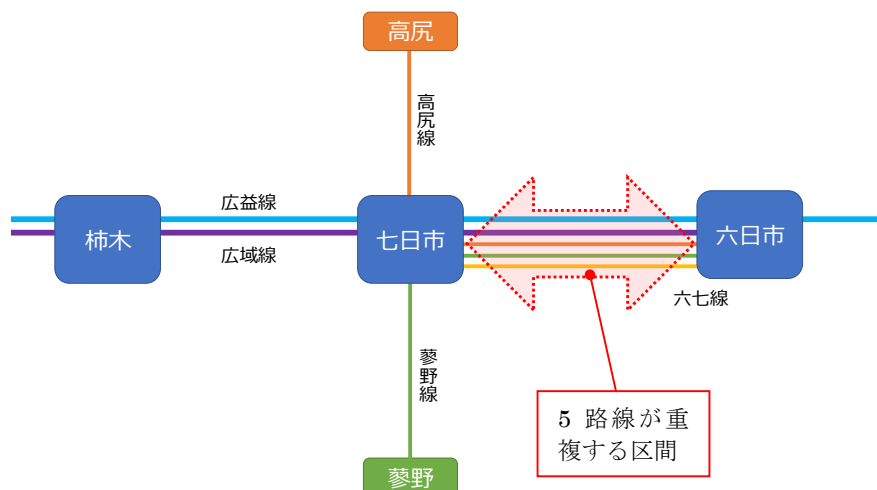
地域	路線名	方面	便	1日平均利用者数 (小中学生)
六日市 地域	蔵木線	六日市駅→深谷大橋	3便 (14:51発)	0.1
			4便 (17:35発)	0.0
		深谷大橋→六日市駅	3便 (15:16発)	0.0
			4便 (17:57発)	0.0
	蓼野線	ゆらら→国重橋	4便 (15:56発)	4.1
			5便 (17:06発)	0.0
		国重橋→ゆらら	4便 (16:55発)	0.0
	高尻線	ゆらら→新田	4便 (14:53発)	3.0
			5便 (16:53発)	3.5
		新田→ゆらら	4便 (15:30発)	0.0
			5便 (17:30発)	0.0
柿木村 地域	吉賀町スクールバス (梶谷線)	柿木→キャンプ場入り口	2便 (15:10発)	1.1
			3便 (17:00発)	7.7
	吉賀町スクールバス (木部谷大野原線)	柿木→口屋橋	2便 (15:25発)	1.8
			3便 (17:05発)	6.6

資料：乗降調査結果

図表-52 スクール便・吉賀町スクールバスの小中学生の利用状況

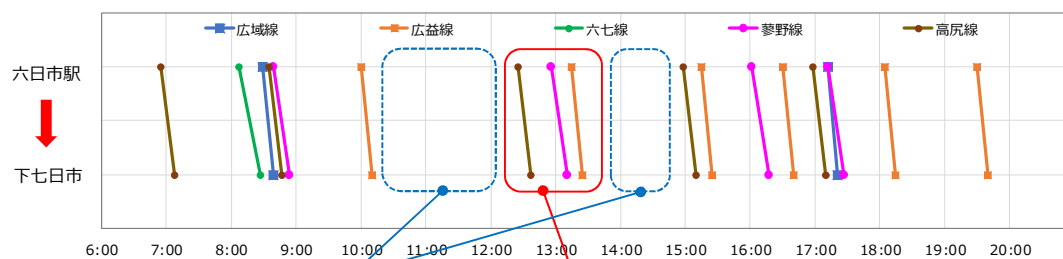
⑦ 六日市と七日市間の非効率な運行

- ・ 六日市と七日市間は、広益線、広域線、高尻線、蓼野線、六七線の 5 路線が重複して運行しています。
- ・ 通学時間帯以外の日中の時間帯にも複数路線のダイヤが重複している一方で、全く運行していない空白の時間帯があります。

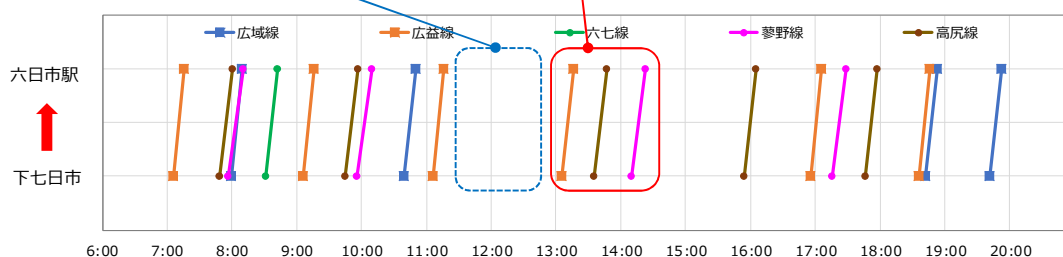


図表-53 六日市と七日市間の路線バスの運行状況

【六日市→七日市】



【七日市→六日市】



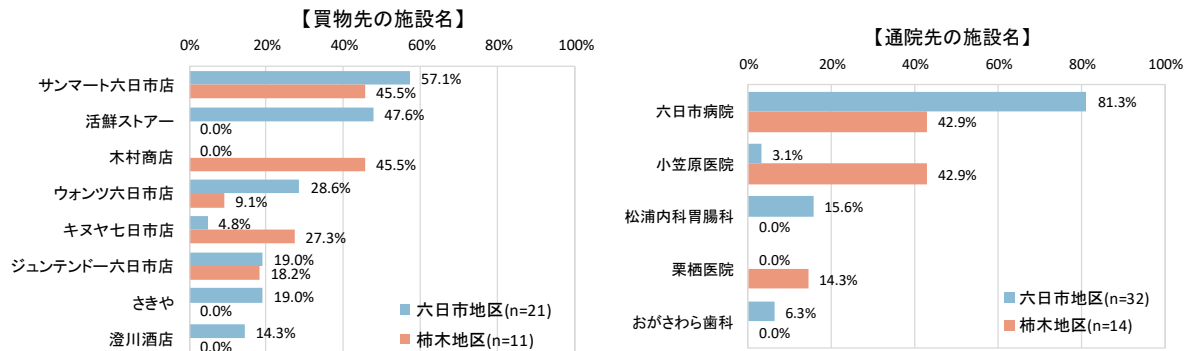
図表-54 七日市と六日市間の路線バスのダイヤ

⑧ 六日市地域中心部の商業施設への公共交通によるアクセス性の低さ

- ・ 六日市地域中心部の商業施設は、停留所から離れている施設があり、特に高齢者にとっては利用しにくい状況です。
- ・ 公共交通利用者の主な利用目的地は、よしか病院やサンマートです。
- ・ よしか病院の通院者は行き又は帰りに商業施設に立ち寄る人がいますが、徒歩では10分以上かかります。

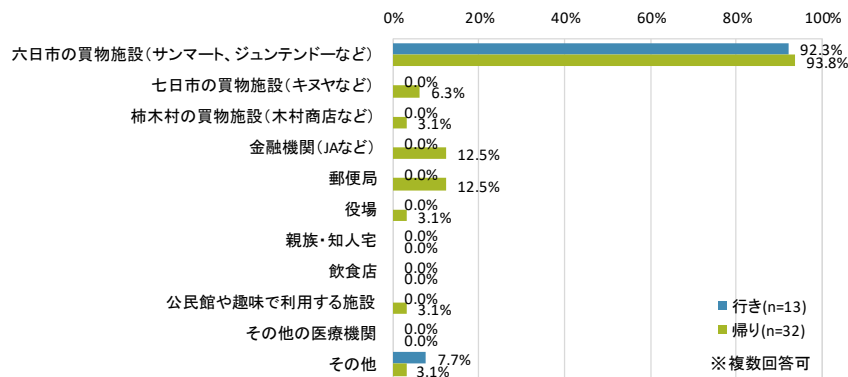


図表-55 六日市地域中心部の施設と路線バスの状況



資料：利用者アンケート調査

図表-56 公共交通利用者の買物及び通院先

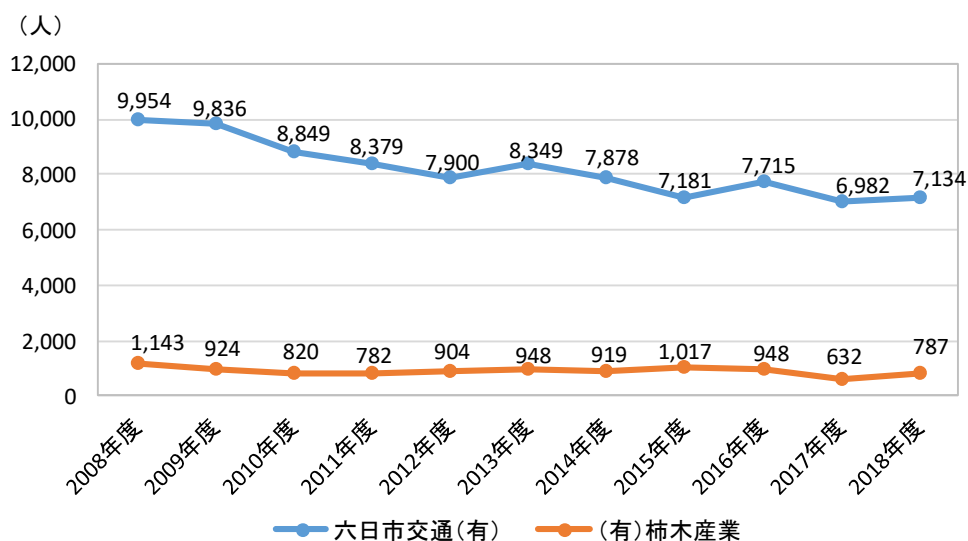


資料：六日市病院アンケート調査

図表-57 六日市病院通院時の立ち寄り施設

⑨ タクシーを取り巻く環境の厳しさ

- ・ 町内には六日市交通(有)と(有)柿木産業が 2 事業者あり、町全域をカバーしていますが、両事業者ともに利用者数は減少傾向であり、タクシー事業者を取り巻く環境は厳しい状況です。
- ・ 運転手の高齢化や担い手不足により、町内事業者によるタクシー事業の存続が懸念されます。



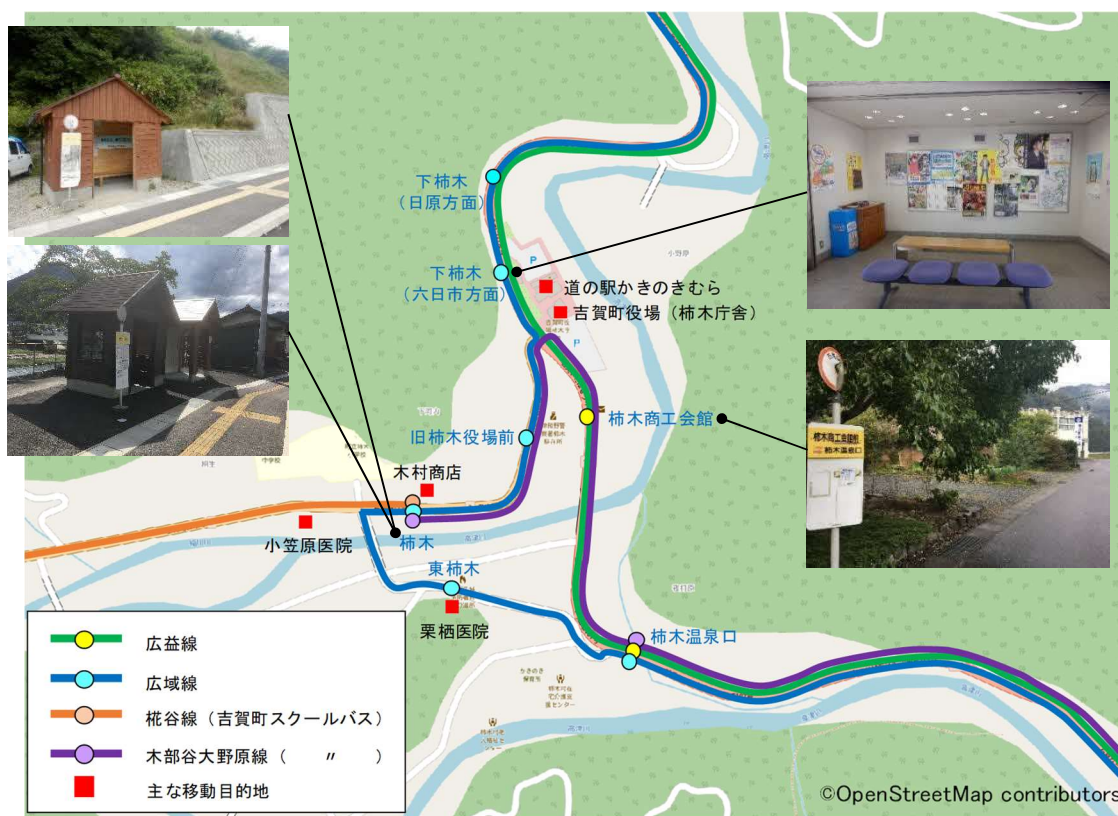
図表-58 タクシーの利用者数(再掲)

- ✓ 路線バス・デマンド型乗合タクシーの利用者を増やすことを考えるべきではあるが、タクシー事業を存続させ、他の交通機関との共存やバランスをとることが重要。
- ✓ デマンド利用者はタクシーを利用しない傾向がある。
- ✓ タクシーの利用者は減少しており、タクシー事業は赤字の状況。
- ✓ タクシー事業は大幅な赤字が出ているが、利用者がいるため事業をやめることはできない。将来的には撤退の可能性もある。

図表-59 タクシー事業者へのヒアリング調査における意見

⑩ 交通結節点が不明確で停留所環境の整備が不十分

- ・ 柿木村地域では、広益線・広域線と町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシーとの乗継停留所が、それぞれ「柿木商工会館前」停留所、「柿木」停留所であり、1か所に統一されていません。また、これらの停留所は快適な待ち合い環境とは言いにくい状況です。
- ・ 老朽化している停留所もあり、待合場所や時刻がわかりづらくなっています。



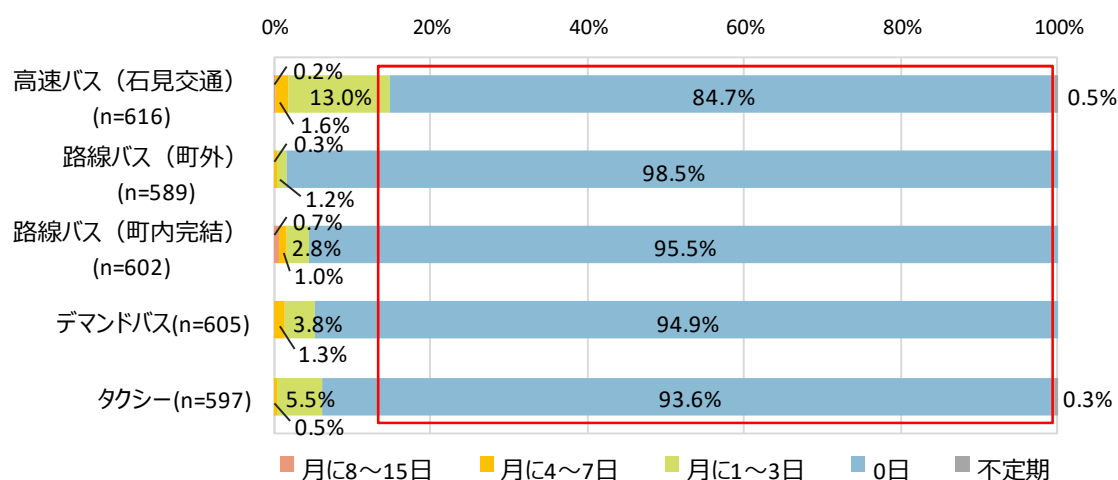
図表-60 柿木村地域中心部の路線バス・停留所の状況

- ✓ 13:15「六日市」停留所発の広益線で帰ってから、15時台のデマンド型乗合タクシーまで「柿木」停留所で待っている人がいる。(交通事業者)
- ✓ 「柿木」停留所は、夏は暑く冬は寒い。(交通事業者)
- ✓ 「柿木商工会館前」停留所は、風雨をしのげる屋根を整備してほしい。(道の駅かきのきむら)

図表-61 ヒアリング調査における意見

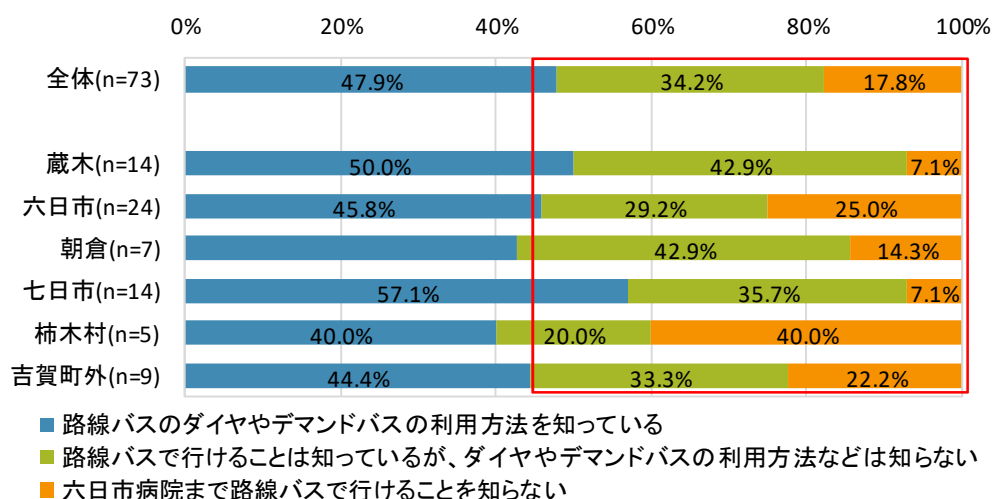
⑪ 新たな利用者の掘り起こしに向けた情報提供や取組が不十分

- ・ 町民の多くは、公共交通をほとんど利用していません。
- ・ 実利用者や新規利用者が少なく、行政からの定期的な情報提供や利用方法の周知に関する取組も十分ではないため、デマンド型乗合交通の利用方法が住民に周知できていない可能性があります。
- ・ 路線別の時刻表はあるものの、公共交通マップがないため、特に初めて利用する人は利用しにくい状況です。



資料：住民アンケート調査

図表-62 公共交通の利用頻度



資料：六日市病院アンケート調査

図表-63 六日市病院への路線バスでの行き方の認知

⑫ 観光客への情報提供ツールが未整備

- ・ 町内には棚田や溪谷など豊かな自然が生かした観光スポットが各地に点在しており、大井谷棚田や水源会館・一本杉など、公共交通で訪問できる観光地もあります。
- ・ 観光地周遊に特化した公共交通の情報提供ツールが整備されていないため、観光客が公共交通を利用しにくい状況です。



図表-64 観光地と路線バスの運行状況

- ✓ バスを利用する観光客はほとんどいないと思われるが、年に数件デマンド型乗合交通の利用や予約方法について問い合わせがある。(吉賀町観光協会)
- ✓ 既存の観光マップにバスに関する情報が載っていないため、バス停位置や利用方法等を掲載したら利用しやすい。(吉賀町観光協会)

図表-65 ヒアリング調査における意見

⑬ 関係機関の連携が不十分

- ・ 上位・関連計画策定時、公共交通に関する住民の関心は高水準にありましたが、調査や検討を行っても、関係部局全体で協議できる組織体制がなく、公共交通に関する情報提供や利用促進において、行政間の連携が十分に行われていません。
- ・ 町内に 2 か所ある道の駅では、農家の高齢化等により出荷が困難になりつつある状況が確認されました。公共交通は人だけでなくモノの輸送も可能ですが、十分な連携が図れていません。

- ✓ 「ふれあいサロン」は、各地域で自由な形態で実施しているため、公共交通の運行時間に合わせることは可能ではないか。（吉賀町保健福祉課）
- ✓ 各地区に「地域支え合い会議」があるが、課題を施策に結び付けられていない。（保健福祉課）
- ✓ 個人農家の高齢化も進行しており、集荷は課題だと認識しているが、人員と車両が確保できず、集荷はできない。（道の駅かきのきむら）
- ✓ 自力で生産物を納品することができない個人農家は、親せきや近所の人に依頼している。（道の駅かきのきむら）
- ✓ 個人農家の高齢化により、自家用車による納品が困難になることが予想されるが、高齢者の生きがいとして生産・出荷は重要。（吉賀町産業課）

図表-66 ヒアリング調査における意見